



平和新聞 東京版

2024年2月15日 東京版第133号

1950年12月16日 第三種郵便物認可 (日本平和委員会)

東京版発行 東京平和委員会

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階

電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487

E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp

都知事選に向けて キックオフ 8000人参加

「どうする東京 変えよう都政! 2024年キックオフ集会」が、1月24日、中野ゼロホールで開催されました。

呼びかけ人代表の五十嵐仁さんが開会挨拶、続いて前回の都知事選候補であった宇都宮健児さんが連帯の挨拶を行いました。

「爆発させよう都民の怒り、小池都政を変える市民のリレートーク」では、憲法・子育て世代・医療・障



碍者・教育・業者・ジェンダー・環境・道路開発・外苑開発・平和基地・多摩格差・地域の共闘・労働者・青年・都市整備路線などの分野から切実なアピールがあり、都政転換の熱い想いが広がり共有されました。

東京平和委員会は平和・基地問題で発言し、小池知事の「安全保障のために横田基地がその一翼を担っている」と基地を容認する姿勢を告発。整備後1年もたた

ないうちに墜落事故を起こした横田基地オスプレイの危険性を報告し、オスプレイ撤去を呼びかけ、基地周辺の住民を監視する「土地利用規制法」を批判、有機物PFAの汚染・健康被害の

説明は東京都の責任だと訴えました。最後に、戦争する国づくりを止め、平和な未来を築いていくためにも平和主義の知事を誕生させようという決意を表明しました。

立民・塩村参議院議員、共産・小池参議院議員などの党代表が壇上に並び決意表明を行いました。行動提起では、こんどこそ、市民と野党の共闘で都政を変えよう。そのために、各地の共同団体、労組、民主団体、個人及び野党による共闘組織の確立をめざし、市民と野党が力を合わせ共通政策の策定と候補者擁立を進め、各地域、分野での都知事選をたたかう体制づくりが呼びかけられました。

日本平和委員会が1月29日に、空港・港湾の戦時利用のための改修・整備計画の中止を求め、対政府交渉を行いました。日本平和委員会の千坂純事務局長と東京平和委員会の岸本正人事務局長、生協労連の櫻井美子書記次長が会場参加し、オンラインで、沖縄、鹿児島、宮崎、長崎、福岡、高知、福井、神奈川、秋田な

どの平和委員会の仲間が参加しました。政府側は、国家安全保障局、防衛省、外務省、国土交通省の担当官らが対応しました。沖縄タイムス、琉球新報も取材にきました。

交渉で、千坂さんは、「政府は、大軍拡・『戦争国家』づくりに自治体を組み込み、空港・港湾を事実上の軍事基地化して戦争に動員し、その地域を戦場にしかねない危険極まりない計画だ」と中止を求めました。担当官らは、「これはあくまでも民生利用を主としつつ、併せて自衛隊等のニーズに合った改修・整備を行うものだ。」との答弁に終始しましたが、国家安全保障局の担当官は、平素から訓練を重ね、有事に使用できるようにするためと認めました。参加者らは最後に、この危険性を住民、自治体に知らせ、拒否する状況を全国でつくるため奮闘することを確認し合いました。

「国民監視を許さず 土地利用規制法で政府要請」

政府は12月26日に、土地利用規制法に基づく4回目の指定候補184カ所を示

しました。

今回は、米軍基地も含まれ、横田基地や普天間基地なども候補に上がっています。これまでの合計で583カ所になります。区域指定されれば周囲おおむね1kmが監視対象となり、特別注視区域では土地の売買に届出が必要となります。都内の区域指定の候補は、特別注視区域に横田基地、注視区域に朝霞駐屯地、大和田通信所・衛生学校・艦艇装備研究所・ニューサンロー米軍センター、用賀支処、東立川駐屯地・立川駐屯地、柚木中継所、陸軍装備研究所・相模総合補給廠、小平学校。3回の区域指定では、防衛省市ヶ谷庁舎、十条駐屯地・補給統制本部、練馬駐屯、空自府中基地が指定されました。8団体でつくる「国民監視・土地利用規



制法の廃止を求める共同行動」は1月30日、衆議院第1議員会館で政府に対する要請を行いました。

「特別注視区域」の指定基準が不明な点、関係自治体からの丁寧な意見聴取や、住民への説明なども求めましたが、「住民説明会は行わない」の一点張りでした。

今後、国民監視と不当な私権制限を許さないために、指定にかかわる地域での取り組み、政府交渉などの取り組みが重要になっていきます。

食品安全委員会のPFAS摂取量指標値を欧州の60倍超に

パブリックコメントに

応募を

国の食品安全委員会が、有機フッ素化合物（PFAS）の一種であるPFOSAとPFOSのヒトの1日の許容摂取量について、それぞれ体重1キログラム当たり20ナノグラムとする指標値を定めた評価書案を了承しました。

PFASは、米軍基地や工場周辺の地下水などで汚染が広がり、健康への影響が懸念され、世界保健機関（WHO）傘下の国際がん

研究機関は、昨年11月に公表した評価結果で、「ヒトに対して発がん性がある」と分類しています。

PFAS問題に詳しい小泉昭夫・京都市大学名誉教授は、今回示された許容量を摂取し続けた場合に、疫学データから健康影響が懸念される血中濃度レベルをはるかに超えることなど、問題点を指摘しています。

食品安全委員会は、パブリックコメント（意見公募）を3月7日まで実施していますので、基準強化のコメントを送ってください。
https://www.fsc.go.jp/ik
en-bosyu/pcl_pfas_pfas_060207.html

横田基地フィールドワーク 東葛看護専門学校生

東葛看護専門学校は、日本国憲法の3原則「国民主権・恒久平和・基本的人権」の立場から、戦争の歴史と実態について学び、特に戦争が医学にもたらした影響について実践的に学び、現代社会の実態や健康被害について考え、21世紀の平和、社会、医療のありようについて考える研修を毎年行っています。

2月2日に専門学校の学

スカイホール展望広場から
横田基地を遠望



生6人と教員2人が横田基地のフィールドワークを行い、東京平和委員会がガイドしました。
最初に基地に近く飛行ルート直下にある拝島第2小学校を視察。騒音で立ち退き消えた街「堀向地区」、基地南のサウスゲートに向かい説明をしていると頭の上をC130輸送機が飛来し、爆音を体験しました。
基地を見下ろす瑞穂町スカイホールからはオスプレイが駐機しているのが見えました。
午後は、福生平和委員会の市毛さんから基地の自治体に与える問題やPFAS汚染についてお話をいただきました。
参加者からは、「飛行機

響子の旅日記

北海道へ行ったどう

皆様こんにちは！寒暖差が激しく、いかがお過ごしでしょうか？
今回の響子の旅日記は、私の47都道府県目の北海道です！昨年の2月末に札幌・小樽への旅でした。
北海道は私の長年の憧れの地で、4回目の正直でなるとか渡ることができました！これで目標を達成！新千歳空港から札幌に向かう電車の中で、達成感で感無量の涙がぼろぼろ：あの白



銀の世界、感動は今でも忘れません。

それにしても東京生まれ東京育ちの私は雪道を歩き慣れていません。スノーブーツを履いていったものの、まあたどたどしい歩きで大変！時計台や大通公園など観光しましたが靴ずれに悩まされ早めにホテルへ：夜もジンギスカン？とか楽しみにしていたのにもう疲れ果てホテルでコンビニ食：(笑)
次の日は小樽へ：でも大吹雪で前が見えない：海も空も灰色：雪が2メートルくらい積もってる：(笑)そこを踏ん張り歩く私：靴ずれが痛いたためもう大変！でも意地でなんとか小樽運河へ：(写真)感動もつかの間、派手に転んで脇腹を打ち意気消沈：(笑)その後札幌へ戻り、私の大好きな路面電車へ！なにも用事がないのに一周しました。
最終日は、大吹雪のためなにもできず朝から新千歳空港へ。そしたら飛行機が遅れに遅れ、その日のうちに帰れるかどうか：なんと次の日から私、3・1ピビキニデーに参加予定で、なんととしても帰りたいの思いかから自然と手を合わせて神頼みをしていました：神

お知らせ

東京都議会開会日行動
2月20日（火）より、東京都議会第1回定例会（2/20～3/28）が開催されます。
都民連等の主催で、当日お昼休みに都議会開会日行動を開催いたします。
来年度予算を決める大事な議会です。ぜひノボリ、旗を持参のうえ、ご参加をお願いいたします。
◇開会日行動日時
2月20日（火）
12：15～13：00
◇場所 東京都庁第1本庁舎前歩道
◇主催 都民連、東京社保協、東京地評